

Midas PROXファームウェア

Version G3.4.6 Rel-9 (2019年7月31日)

新機能

- 新しいエフェクト: TCリバーブ: VSS4を追加
- プリセット: ダイアログ・ポップアップで保存と上書きの選択が可能
- プリセット: インサートパッチは、システム全体パッチとは別に保存し、ロードすることができます
- タップテンポ: 時間表示とBPM表示を切替えるポップアップダイアログの追加
- オーバービュー/GUI: オートメーションシーンがPro Xのコンソールオーバービュー/デフォルトで表示されるようになりました。
- プレファランス: Output meters pre オプション - 入力メータープリと異なります。(以前はグローバル)
- オートメーション: スコープキーが使用可能(PROX)
- プレファランス: サーフェス上のオートメーションボタン機能を無効にするオプション
- プレファランス: オートメート・ページング機能を使用しているときエリア Bをアイソレートするオプション
- ショーエディター: ミュートとフェーダーを別々のオプションとして使用できるようになりました

修正

- DSP: ブートアップで POST テストの誤ったエラーが修正されました。
キーアライブの起動時の問題を修正
競合状態に関するブートアップの問題を修正
- サーフェス/MC: MCアプリケーションエラーによるサーフェスのフリーズを修正
- IO/ルータ: NB拡張モジュールに接続されたIOボックスがNEUTRONより前に起動した際に出カミュートが解除されない問題が改善されました。
- FX: M350リバーブがオートメーションで設定を誤ってリコールする問題を修正しました。
- グループ: 右リンクされたチャンネルが選択されている場合、VCA / POPグループからリンクされた出力が失われる問題を修正しました。
- グループ: リンクされた入力が選択されている場合、サーフェス経由でPOP/VCA からチャンネルを削除できない問題を修正しました。
- フリップモード: 動作中に“Sync to Area B”をオフにすると、エリアBでFLIPがスタックする問題を修正しました。
- パッチング: CM-1出力パッチがオートメーションのシーン間で更新されなかった問題を修正
- ダイレクトアウト: CM-1にパッチをしたDir Outがパッチとしてサーフェスに表示されていたが、シーンのリコールでミュートが解除されない問題を修正しました
- ソロ/モニター: ステレオバスへのステレオAuxセンド・コントリビューションは、合計がモノラルではなくなりました。
- FLIP: GUI #2でチャンネルが選択されていないときに選択できるようになりました。
- 詳細ストリップ/GUI: EQ詳細セクションボタンが時々コンプレッサーを表示する問題を修正しました。
- FX/プリセット: 単一のエフェクトプリセットを保存できなかった問題を修正しました。
- FX: DEQ周波数値は、急速かつ大幅に前後に変化すると範囲外になる可能性があります。
- ログ: インターリンクエラーがログにすばやく転記される問題を修正しました。